

祝 校友会山桜会創立90周年

山桜会 会長 川原 俊明



はじめに

今年は、追手門学院校友会山桜会にとって記念すべき年となりました。

山桜会は、創立90周年を迎えるに至りました。

1916年(大正5年)、追手門学院の前身である偕行社に赴任してこれた片桐武一郎校長によって、卒業生を対象に「桜会」を結成されたのが、現在の校友会山桜会の始まりでした。

それから90年。山桜会が、約3万人の卒業生を抱える大きな同窓会に成長しました。これも、すべて先輩たちの並々ならぬ努力のおかげです。

この紙面をお借りして御礼申し上げます。

90周年記念の意義は…

古き酒袋に新しい酒を盛る。

私達の役割は、90年という承継の重みを大切にしながら、さらに次の世代に追手門学院の伝統と愛校心を引き継ぐことです。

山桜会の活動が、「従前の踏襲」では発展もなく、かえって後退しかねません。

私達は、現在の山桜会組織力をフルに活用し、100周年に向けて、大きく歩み出す必要があります。

すでに、山桜会の現執行部は、2期目に入りました。スタート時点で目標と掲げたのは、卒業生による「母校に対する教育改革支援」でした。

新体制から5年目の現在、母校は、スタート時点と比較して飛躍的な進化を遂げています。その中に、私達が少しでもお役に立てたものがあれば幸いです。もちろん、各学校の内部では、先生方の血のにじむような努力が積み重ねられていたのです。一方、山桜会としては、先生方との懇談会を経て要望を学校に持ち込んだり、現役生徒には、先輩として私達の経験を伝えたりしました。生徒の学術的あるいは文化的な活躍に対しては、横断幕を提供するなどして、現役生徒の向上心を応援し、学院との関わりを深めてまいりました。

また、各学校の入学式や卒業式への参列だけでなく、茨木中高において、PTA・山桜会・先生方とのスポーツ大会を通じての交流、各学校の新旧PTAとの懇親会開催など、学院行事への関わりを増やして、山桜会の存在を学院内外にアピールしてきました。

学校法人の運営にも、学院理事会に2人の理事が参加し、卒業生として大きな発言力を確保しました。

90周年記念事業

今年に入ってから山桜会の事業は、すべて90周年記念の冠をつけて開催することになっています。記念新年会、記念講演会、記念総会、記念ゴルフ大会、記念シンポジウム、記念パーティ、記念コンサートなど…。

すでに、開催された新年会は、清酒「山桜」の鏡開き、小学校日本太鼓クラブの演奏で始まりました。山桜会創立の師・片桐校長のご子息をお招きできたことは、特筆すべきことです。

3月18日の記念講演会は、日銀福井総裁をお迎えしての講演でした。

日銀が資金流通政策について量的緩和の解除を発表した矢先だけに、参加者の関心も深く、記念事業としてふさわしい盛り上がりとなりました。

多くの山桜会の皆様方、そして学院関係者の皆様方の絶大なご協力が成功につながりました。誠にありがとうございました。

6月に予定されている記念総会・懇親会は、ジュニア委員会の人たちが中心とする企画が楽しみです。皆様、ぜひお誘い合わせの上、多数ご参加下さるようお願い申し上げます。

10月29日(日)の記念シンポ・記念パーティは、全学の代表者が一堂に会し、追手門の未来を語る画期的な企画を予定しています。

11月8日(水)の記念コンサートは、本学卒業生の世界的指揮者湯浅卓雄氏による大フィルコンサート。シンフォニーホールの1800の席を埋め尽くしたいと考えています。

次に向けての出發

90周年は、山桜会にとって、内なる改革の出発点でもあります。

教育改革支援を掲げて早くも5年が経ちました。

近時の山桜会の活動は、各委員会を中心に活動を強化してまいりました。委員会ごとに掲げる目標に向かって機能的な活動を進めるうえで、その効果は絶大なものがありました。しかし、一方では、委員会ごとの縦割り意識が強調されると、本来の決議機関である理事会、学年代表の意見集約機関である評議員会という全体としての機関活動が、疎かになりかねません。今のうちに、組織をもう一度見直し、体制を立て直すことが急務です。

山桜会の活動基盤である評議員会を活性化させるためには、すべての評議員を各委員会に吸収する必要があります。

評議員による委員会への全員参加目標を、さらに強力に実現すべく推し進めたいと考えています。

同時に、会員にとって、委員会活動を中心とする山桜会の活動に参加すること自体が、楽しくなければなりません。私達山桜会で活動する人たちは、みんなボランティアであり、活動の原動力は、愛校心がすべてです。

社会的に多忙な方々が、母校のために時間を割き、手弁当で山桜会活動を支えてくれています。

山桜会は、母校への貢献という一つの目的に向けて活動しています。世代を超えた共同作業に参加することより、大きな人脈を獲得でき、互いにボランティア活動の喜びを感じることができそうです。

私達は、山桜会創立90周年を機に、さらに卒業生の輪を広げて、一回り大きな山桜会に成長させようと思います。

山桜会の会員の皆様方はもちろん、すべての学院関係者のご理解とご協力のもとで、さらに大きな一歩を踏み出したいと考えています。

10年後の創立100周年記念事業を楽しみにしています。